

共同研究「国文学研究資料館北野克旧蔵書画の基礎的研究」(代表 合山林太郎慶應義塾大学教授)

きたの たゆる

# 「北野克セミナー」 書画・書簡と江戸・明治の文人世界

ぶんじん

国文学研究資料館の北野克旧蔵書画は、「北野本拾遺集」で高名な北野克(1904-90)が生涯をかけて蒐集したコレクションです(すべてではなく、没後に売り立てられたものを国文研が2007年度に一括購入)。それは、書簡、掛幅、扇面を中心として、短冊、色紙、古筆切、奈良絵本などに及んでいます。このセミナーでは、さまざまな視点に基づいてこのコレクションの豊かさを紹介します。

開催日 2026年 10月16日(金) 13:30~17:00

講演終了後に講師陣による展示作品解説を行います。  
終了時刻(17時)はそれを含めた時刻です。

場所 国文学研究資料館 2階 大会議室  
(〒190-0014 東京都立川市緑町10-3)

挨拶 国文学研究資料館長  
わたなべ やすあき  
渡部 泰明

講師  
慶應義塾大学教授  
ごうやま りんたろう  
合山 林太郎【演題】北野克の業績と江戸漢詩研究

—本田家、多摩の文芸圏を視野に入れつつ—

講師  
慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授  
ほりかわ たかし  
堀川 貴司【演題】送別詩の作法

講師  
早稲田大学教授  
いけざわ いちろう  
池澤 一郎【演題】新井白石の漢詩論

—白石は「唐音」流行をどう見ていたか—

講師  
富山大学准教授  
たべ ともき  
田部 知季【演題】書簡にみる知の流れ

定員 100名

受講料 無料

申込方法 事前申込制 先着順

①Eメール [bunko.seminar@nijl.ac.jp](mailto:bunko.seminar@nijl.ac.jp)

②ウェブフォーム <https://forms.office.com/r/LLsJqFM7nh>

上記いずれかの方法でお申し込みください。後日Eメールにて受講票を送付いたします。  
Eメールの場合は、タイトルを「北野克セミナー申込」とし、本文に氏名、氏名ヨミ、メールアドレスを記入し送信してください。ご記入いただいた個人情報は、当行事運営のために使用します。

受付開始 9月 1日(火)

締切 10月12日(月)

ただし、定員になり次第締切とします。

お申し込みはこちら

問い合わせ先  
主催



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
国文学研究資料館  
National Institute of Japanese Literature

東京都立川市緑町10-3  
HP: <https://www.nijl.ac.jp/>  
E-mail: [bunko.seminar@nijl.ac.jp](mailto:bunko.seminar@nijl.ac.jp)

後援 国立市、国立市教育委員会

透かしは国文学研究資料館所蔵北野克旧蔵書「片山北海詩稿」



共同研究「国文学研究資料館北野克旧蔵書画の基礎的研究」(代表 合山林太郎慶應義塾大学教授)

きたのたゆる

ぶんじん

# 【北野克セミナー】書画・書簡と江戸・明治の文人世界

## 挨拶



国文学研究資料館長  
わたなべ やすあき  
渡部 泰明

## 講演



慶應義塾大学教授  
ごうやま りんたろう  
合山 林太郎

### 【演題】北野克の業績と江戸漢詩研究

#### —一本田家、多摩の文芸圏を視野に入れつつ—

国文学研究資料館に収蔵された北野克旧蔵資料の概要について述べ、それが、近世日本漢文学研究にどのような影響を与えるかに関して、とくに幕末漢詩壇に注目しながら検討する。あわせて、北野克と深い関わりと持つ谷保(現国立市)の名家本田家を中心とした、江戸時代の多摩文芸圏について考察する。

## 講師



慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授  
ほりかわ たかし  
堀川 貴司

### 【演題】送別詩の作法

江戸時代の漢詩人たちは、学問修業や仕事の関係で、あちこちに移動し、いろいろな人と出会い、また別れることが多かったため、送別の詩が多く残されている。詩の内容や表現、またそれを紙に書き記すときに、どのような作法があるのか、今回の展示で解説を担当した作品を中心に、実物に即して考えてみたい。

## 講師



早稲田大学教授  
いけざわ いちろう  
池澤 一郎

### 【演題】新井白石の漢詩論

#### —白石は「唐音」流行をどう見ていたか—

今回の国文学研究資料館で展示する北野克のコレクションの中に、新井白石の書簡二通がある。展示では一通のみであったが、ここでは、もう一通の唐金梅所宛書簡を分析する。そこには、白石の漢詩論や当時流行していた「唐音」に関する白石の興味深い見解が展開される。慶應義塾図書館所蔵、架蔵の関連する白石書簡も参考に供したい。

## 講師



富山大学准教授  
たべ ともき  
田部 知季

### 【演題】書簡にみる知の流れ

北野克のコレクションのなかには明治時代以降の書簡も多く含まれている。特に学者たちの書簡からは、書籍編纂に関わる情報交換や本の貸し借りなど、研究の舞台裏が垣間見える。今回は北野克の旧蔵書画のうち、近代の資料の全体像を概観しつつ、書籍にまつわる学者たちの書簡について検討したい。

## 「江戸・明治の書画と書簡—北野克コレクション—」展

### ギャラリートーク

参加申込 不要

開催日時 各日とも14:00~14:45

場所 国文学研究資料館 1階 展示室

講師 10月 2日(金) ふじとみ あやか 藤富 史花(早稲田大学非常勤講師)

もり たかお 森 隆夫(元早稲田大学大学院生)

10月30日(金) まつば ゆい 松葉 友惟(城北中学・高等学校非常勤講師)

11月 6日(金) あさい まゆ 浅井 万優(慶應義塾大学大学院生)

場所・問い合わせ先



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
国文学研究資料館  
National Institute of Japanese Literature

〒190-0014 東京都立川市緑町10-3

HP: <https://www.nijl.ac.jp/>

E-mail: [bunko.seminar@nijl.ac.jp](mailto:bunko.seminar@nijl.ac.jp)

お申し込みはこちら

締切 10月12日(月)

